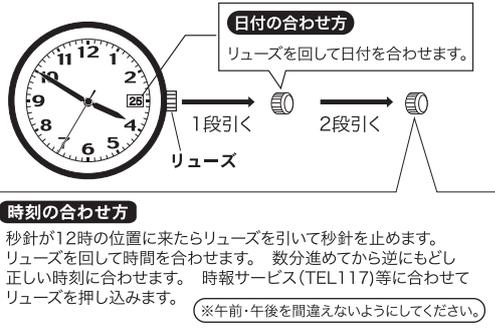


取り扱い説明書

ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みください。

*お読みになった後は、必要となったときいつでもご覧になれるよう必ず保管してください。

時刻の合わせ方



下記の手順で時刻・日付を合わせます。

- ①リューズを1段引いて日付表示を合わせたい日付の1日前に合わせてください。
- ②リューズをもう1段引いて、針を回し12時を過ぎて日付表示が切り替わるまで針を回してください。12時を過ぎて日付が切り替わった時点で午前です。
- ③リューズを回して現在時刻に合わせてください。現在時刻が午後の場合一旦12時を過ぎるまでリューズを回して針を進めてから時刻合わせを行うことで午前と午後が正しく合わせられます。

カレンダー(日付表示タイプ)合わせのご注意

*日付は31日制になっていますので、2月、4月、6月、9月、11月の月末には修正が必要です。

ソーラー発電時計の機能について

本製品は、光を電気エネルギーに変えて駆動するソーラー発電時計です。製品の文字盤の下のムーブメントに配置されたソーラーパネルが受けた光で発電した電力を機械回路内の充電部品に充電します。但し、充電部品は充電を繰り返し行うことで充電容量域が減少していきます。充電性能・稼動時間が著しく低下した段階で部品交換の為に修理お預かりが必要となりますので、お買い上げいただいた販売店、または当社時計サービスセンター宛に修理をご依頼ください。

充電時間の目安

*製品の仕様(文字盤のデザイン・色など)によって充電時間が多少異なります。下表は目安としてご参照ください。

充電容量が不足した時は、秒針が2秒運針します。**(充電残量不足予告機能 参照)**目安の充電時間より早く秒針が通常運針に戻った場合でも機能動作に必要な充電が十分ではありません。必ず目安時間以上の充電を行ってください。ご使用にならないときでも光の当たる場所に置き十分に充電してください。

充電時間の目安	晴天の直射日光下 およそ100,000ルクス	くもりの日光下 およそ10,000ルクス	明るい室内照明下 およそ700ルクス以上
2秒運針の状態からフル充電	約16~20時間以上	約40時間以上	※ --
2秒運針の状態から1日分の充電	約1~2時間以上	約3時間以上	約4時間以上
完全停止状態からフル充電	約20~30時間以上	約60時間以上	※ --
完全停止状態から1日分の充電	約6~8時間以上	約16時間以上	※ --

重要!!

*室内の光量では正常駆動までに必要な電圧を充電する事ができません。必ず日光下で充電を行ってください。

フル充電状態からの連続作動時間

最大充電容量からの連続作動時間		注意
フル充電後 連続作動	紳士サイズ 約6ヶ月 婦人サイズ 約2ヶ月	
フル充電後 節電モード	紳士サイズ 約8ヶ月 婦人サイズ 約3ヶ月	

*紳士サイズ: 裏蓋に印字されている品番が「MRM---」 *婦人サイズ: 裏蓋に印字されている品番が「MRL---」

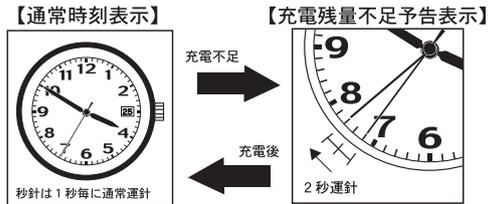
【時計は常に充電を心がけてください】

日常、長袖などを着用して時計に光の当たりにくい環境の方は、時計が充電不足になりやすいので、ご注意ください。
時計を外された際は、出来るだけ明るい場所に置くことを、おすすめします。

充電残量不足予告機能について

充電不足の状態になると秒針の動きが2秒間隔で不規則に進むことで充電不足を知らせます。

◎注意: 2秒運針中は秒針が正常に作動していないので、時刻が若干ずれる場合があります。秒針が2秒運針をはじめたら文字盤のソーラーパネルに光を当て充電してください。必要電圧が充電されると秒針は通常運針に戻ります。



充電上のご注意

充電の際に時計が高温になると故障の原因となります。高温下(40℃以上)になる場所で充電/保管することはお避けください。

(例)白熱灯、ハロゲンランプなど、高温になりやすい光源に時計を近づけての充電、車のダッシュボードなどの高温になりやすい場所での充電。

白熱灯で充電するときは、照度も必要ですが必ず50cm以上離して、時計が高温にならない様に時々確認しながら充電を行ってください。

節電モードについて

光が当たらない(充電出来ない)場所で一時的に針を止め消費電力を抑える機能です。

- ①約30日間以上、光が当たらない(充電出来ない)場所に放置すると針が自動的に止まります。充電残量が少ない状態では、数日で節電機能が作動する場合があります。節電機能が作動し針を止めた時点で、時刻は止まります。
- ②再び光が当たると秒針が止まっていた状態から動き出しますので、リューズを引いて手で時刻/カレンダーを修正してください。光を当てても秒針が動かない場合は、作動に必要な電力が不足しているため文字盤のソーラーパネルに直射日光を当て十分に充電してください。
*室内照明下では、駆動に十分な電圧を充電できませんのでご注意ください。

充電部品交換について ※充電部品交換は有料です。

本製品は、光を電気エネルギーに変えて駆動するソーラー発電時計です。製品の文字盤の下のムーブメントに配置されたソーラーパネルが受けた光で発電した電力を機械回路内の充電部品に充電します。但し、充電部品は充電を繰り返し行うことで充電容量域が減少していきます。充電性能・稼動時間が著しく低下した段階で部品交換の為に修理お預かりが必要となりますので、お買い上げいただいた販売店、または当社時計サービスセンター宛に修理をご依頼ください。有料にて充電部品の交換を行います。この時計の機械・回路内充電部品は特殊な精密機械です。同等規格部品はご使用になれません。ご自身で分解修理されますと部品・機械が破損・故障する原因となります。

防水について

本製品は、10気圧防水です。ご使用になる前に製品の防水機能をご確認の上、ご愛用ください。

防水区分	ケースの裏ふた または文字盤にある表示	一時的にかかる水滴(洗顔、雨など)	一時的に水に浸ける	水泳や水道水などが直接かかる	ダイビング素潜りなど
10 BAR 日常強化防水	10BAR または WATER RESIST(ANT)10BAR	○	○	△	×

○WATER RESIST(ANT)はWRまたはW.Rと表示されている場合があります。

*革バンドは防水ではありません。水に濡れると劣化や変色など傷みを早めます。
*水の中、または水に濡れた状態でリューズを引く操作は時計内部に水が入り故障の原因となります。

■ガラスのくもりについて

ガラスの表面に水滴がついていると、時計内部と外気との温度差により、ガラス内部にくもりが生じることがあります。すぐに消える場合は問題ありませんが、いつまでも水滴が残ると時計内部に水が侵入する場合がありますので修理が必要です。